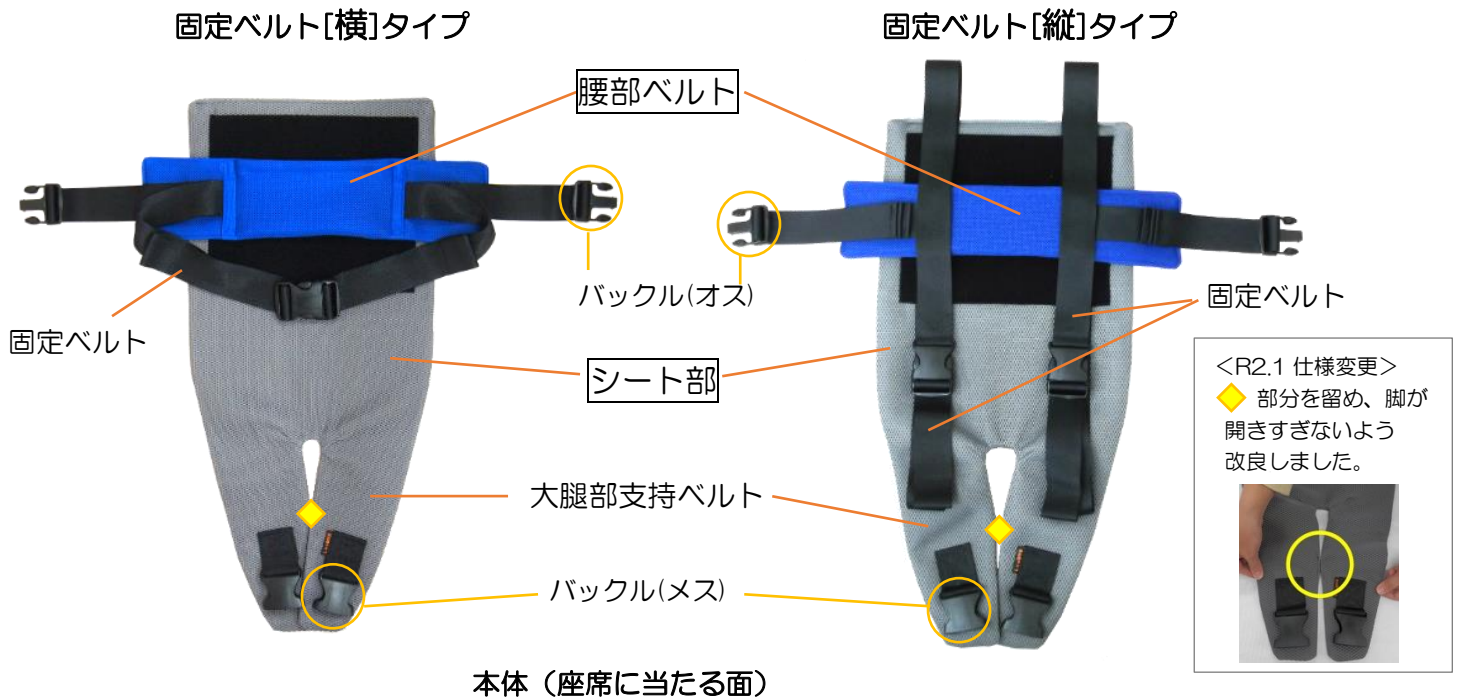


各部の名称



ベルトの長さ調節方法（オス・メス共通）

短くする（しめる）



バックルを傾け、ベルトの端を引っ張る

長くする（ゆるめる）



バックルを傾け、下(本体側)のベルトを引っ張る

腰部ベルトはシート部から取り外せません。



基本の装着方法（椅子の場合） ※状況に応じて異なります

初回ご使用時は、使用される方の体格に応じて、ポジショニングを行ってください

- ◆シート部と腰部ベルトの位置を、お子様の体型に合わせて調整してください。少し調整するだけで、更にしっかりサポートされるのがお分かりいただけます。
- ◆初回ご使用時に位置が決まれば、2回目からは再調整の必要はありません。

※写真は全て仕様変更前のもので撮影しています。

① クロスYベルトを椅子にのせる

椅子の角（座面と背もたれの境目）にシート部の横の縫い目を合わせます。〔基本の位置〕この位置を基準に、お子様の体格により、その方にとっての適切な位置にセットしてください。

バックルを留める際、指などを挟まないようご注意ください

初回ご使用時は 腰部ベルトの位置が決まっていないので、座ったときの大腿部の高さより上〔目安の位置〕にセットして一度試乗していただき、調整してください。



② 固定ベルトをしめる

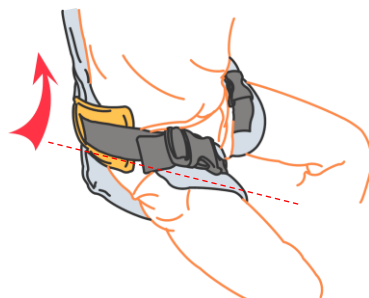
固定ベルトを椅子の背面でバックル留めし、ベルト先端を引っ張り固定します。

③ お子様を座らせる

④ 大腿部支持ベルトをしめる

腰部ベルトと大腿部支持ベルトをバックルで留め、ベルト先端を引っ張ります。

本人に確認しながら大腿部支持ベルトの張りの強さを調整します。※張りすぎないようにご注意ください



腰部ベルトの位置が低すぎると、ベルトがゆるむ場合があります

⑤ 全体の確認

ベルトがねじれていないか、バックルが固定されているか、ベルトの強さ、安定性などを確認してください。



抱クッションを併用すると、更に体幹が安定します

使用例

※ 横・縦 どちらのタイプも、背もたれや座面の種類・形状によっては取付できない・適さない場合があります。

固定ベルト[横]タイプ



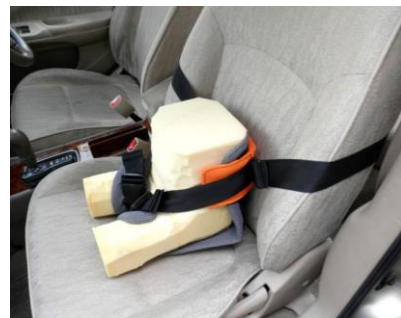
固定ベルトを、少し高めめの位置にセッティングします。



車いすの場合、背折れフックなどに掛けると安定します。



固定ベルトが落ちないように工夫。結束バンドや付属のすり落ち防止ベルトが効果的です。
(写真は結束バンドを使用)



背面に隙間ができる場合は、固定ベルトをやや上部から引き上げるようにセットすると有効です。

固定ベルト[縦]タイプ



カーシート、ポケットシート、ベンチシート、モールドクッションなどに適しています。



固定ベルトをクロスで留めたり、更に紐などで束ねると丸みのある背もたれでも固定ベルトが安定します。



背もたれの縦幅が狭い椅子はシートが浮き易いので、補助ベルトがおすすめです。

補助ベルトの使用例 (オプション別売)

シート部が浮き上がるのを防ぎます。前ずれ防止に。

腰を持ち上げてしまう方、身体をよく動かすので姿勢が崩れてしまう方などにおすすめ。



補助ベルト長さ：
約 160cm (最長周囲)

<使い方>

- ① クロスYベルトを椅子にセットします。
- ② 補助ベルトを椅子の角に近い位置に巻き、バックルを留め、ベルトの端を引っ張り固定します。

※補助ベルトを固定できない形状の座席には使用できません。

ずり落ち防止ベルトの使用例 (固定ベルト横タイプに付属)

シート部や固定ベルトが下がってしまう場合に。クロスYベルトが吊り下げられる形になり、ずり落ちを防ぎます。



ずり落ち防止ベルト 長さ：約 80cm
(面ファスナー部分は約 50cm)

<基本の使い方>

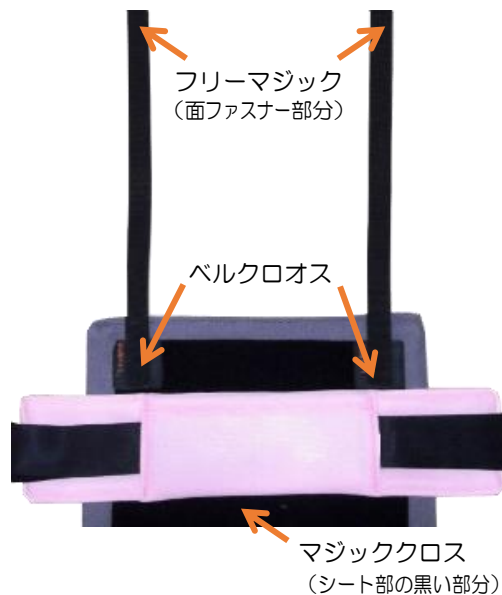
- ① ずり落ち防止ベルト 2本のベルクロオスを、マジッククロスに貼り付けます。

貼り付ける左右の間隔や位置は、背もたれの高さや形状により異なります。

- ② 固定ベルトの下を通してから、折り返してフリーマジック部分を重ねるとくっつきます。

ご使用の際、フリーマジックやベルクロオス(チクチクする面)が衣類など他の生地素材に触れると傷める恐れがありますのでご注意ください。

※背もたれの仕様・形状によっては使用できない・適さない場合があります
※事例の他にも1本に繋げてひっかけるなど、アレンジしてご使用いただけます。



Lee 製作室
<http://www.lee-lee.jp>

♥Lee 製作室は姿勢保持具「オリジナル福祉用具」を提供します

〒910-0374 福井県坂井市 丸岡町北横地 40-9
TEL0776-50-1105 FAX 0776-50-1106

骨盤保持用具 クロスYベルト 取扱説明書

クロスYベルトをお求めいただきまして、誠にありがとうございます。当製品がお役に立てれば幸いです。

この取扱説明書は、クロスYベルトを適切にお使いいただくための項目を記載しています。(BODYプラスは別の説明書があります。)

正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずお読みいただき、いつでも見られるように大切に保管してください。

予告なく仕様変更を行うことがありますので、お手元の製品と本書が一部異なる場合があります。

最新の取扱説明書をホームページ(<http://lee-lee.jp>)の商品ページからダウンロードできます。

特徴

- 骨盤保持機能と前ずれ防止機能で、姿勢の崩れを防ぎ、背筋の伸びた良い姿勢を楽に保つことができます。
- 大腿部でサポートするので局部を圧迫しません。
- 股関節の内転防止効果があります。
- 3Dメッシュの3層構造で、除圧効果があり、蒸れや熱こもりがなく快適です。
- パーツの分離が簡単で、手軽に洗えるので清潔に使えます。
- 腰部ベルトの位置を手軽に調整できるので、複数の方の使用にも適しています。
- 装着が簡単で、さまざまな場面で使えます。(座席の仕様により適さない場合もあります)
- コンパクトなので持ち運びが簡単です。
- 多動傾向のある方のカーシート補助具としてもご利用いただけます。



安全上のご注意 <必ずお守りください>

- ☑不安定な座席で使用しないでください。
- ☑バックルをはじめ、製品が傷ついた状態で使用しないでください。
- ☑この製品は車のシートベルト替わりにはなりません。
- ☑椅子が転倒しないようにご注意ください。
- ☑姿勢保持の目的以外での使用はしないでください。
- ☑ベルトの緩みすぎ、締めすぎにご注意ください。
- ☑バックルがしっかり固定された状態でご使用ください。
- ☑破損や事故に繋がるような乱暴な扱い方をしないでください。
- ☑お子様をのせたまま放置しないでください。介助者の方の目が届く範囲でご使用ください。
- ☑改造しないでください。
- ☑腰部ベルト等の面ファスナー(ちくちくする部分)にゴミ等が絡まると吸着力が落ちますので、付いた場合は取り除いてご使用ください。
- ☑長期の使用により腰部ベルトの吸着力が落ちた場合は、シート部を交換してください。(シート部のみでも販売しています)

取り付けできない座席

- 固定ベルトが留められないサイズ・形状の座席
- 背もたれがない、または 低すぎる座席
- 安定していない座席
- その他、本製品を固定できない座席

サイズとお子様の身長目安

サイズ対応表 (cm)

サイズ	S	M	L	LL
身長目安	80未満	70-130	120以上	160以上

個人差がありますのであくまでも目安です。

体格によって異なる場合があります。

調整のしかたでこの目安以外の方が使用できる場合があります。

お手入れ

- シート部は洗濯機で洗濯することができます。漂白剤や乾燥機は使用できません。
- 必ず洗濯ネットに入れて単独で洗ってください。
(バックル類の損傷を防ぐため、他の洗濯物を傷めないため)

仕様

手作り品のため数値に誤差が生じます

サイズ	S	M	L	LL	
シート幅 (cm)	23	30	35	38	
シート全長 (cm)	48	58	73	84	
重さ (g)	横	400	600	750	820
	縦	520	710	840	940

固定ベルト長さ : 約 160cm (最長周囲)

<パーツ構成と主な素材>

シート部	ホ [®] ポリエステル(生地)、ナイロン(ベルト)、プラスチック(バックル)
腰部ベルト	ホ [®] ポリエステル(生地)、ナイロン(ベルト)、プラスチック(バックル)、ホ [®] リイロン(芯材)

廃棄の際は、お住まいの自治体の分別ルールに従って処分してください

家庭洗濯等取扱い方法



主材の組成
表地 ナイロン 78% ポリエステル 22%
内部メッシュ ナイロン 75% ポリエステル 25%
バックル 樹脂製品 (POM)